

医療法人社団広恵会 春山外科病院

〒169-0073 東京都新宿区百人町1-24-5 TEL 03-3363-1661 FAX 03-3371-1021  
<http://www.haruyama-hosp.com> e-mail : [info@haruyama-hosp.com](mailto:info@haruyama-hosp.com)

## 傷の治し方 今と昔…

診療部 外科  
上野 力

みなさん、ケガをした時の傷の処置は、どのようにお考えでしょうか？

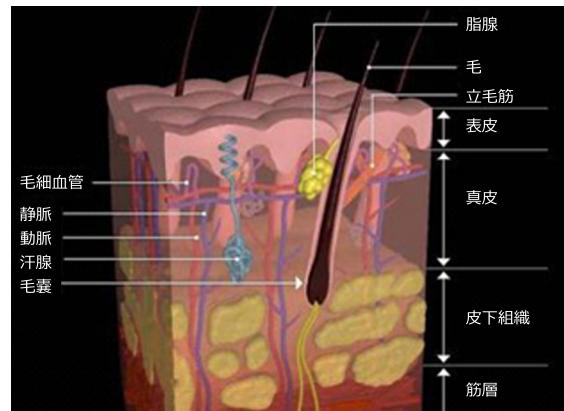
- 「傷の処置は消毒液を用いる」
- 「傷は乾燥させたほうが良い」
- 「傷は濡らしてはいけない」

上記のように思っている方が多いのではない  
でしょうか？

最近の創傷処置の考え方は…

- 「傷の処置にむやみに消毒液を用いない」
- 「傷は乾燥させないほうが良い。」
- 「傷はよく洗ったほうが良い」

が主流となっています。



身体の表面の皮膚は表皮、その下に真皮と呼ばれる組織があります（上図参照）。

ケガをして表皮や真皮を損傷した場合、損傷した部位の痛み、そこからの出血、浸出液の分泌が認められます。身体の表面の皮膚は表皮と呼ばれていますが、傷ついた表皮や真皮が再生して出血や浸出液が少なくなり、表皮が再生したところで痛みや症状はなくなります。すなわち、傷を治す為には表皮や真皮等の細胞が速やかに再生することが必要なのです。傷を治そうとする時に創面に消毒液を用いることや乾燥させることはいずれも細胞の活動を阻害すると考えられています。

「今まで傷を見れば消毒をしてきたし、乾燥させろと言われた。」という方も多いと思います。確かに消毒は菌を殺すのに有効ですが正常の細胞の働きまで傷害します。すなわち再生して治そうとする細胞も傷害するのです。

乾燥はなぜダメなのでしょうか？ 乾燥すると傷の部分に存在する“傷を治そうとする細胞”が死んでしまいます。すなわち、傷の治癒には乾燥させない“適度な湿潤環境”が必要なのです。

ケガをした場合、ご自分で消毒やガーゼを充てるのではなく泥や砂で汚れた部分は水道水できれいに洗い流し、当院を受診して担当医師にご相談ください。



平成23年7月～平成23年12月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来患者延べ数	4,105	3,946	3,939	3,950	3,912	4,153	24,005
入院患者延べ数	1,519	1,517	1,585	1,652	1,612	1,679	9,564
搬送救急車台数	497	436	512	533	472	526	2,976
平均在院日数	11.2	14.9	13.0	16.5	13.5	13.3	13.7
手術件数	51	65	66	60	71	76	389

## 新任医師の紹介

4月よりお世話になっております後藤英介です。

平成12年に東京医科大学を卒業し、現在までに麻酔科とペインクリニック、美容外科を含めた形成外科に従事して参りました。

この度、麻酔科を軸として、麻酔にとどまらず、診療科目を超えた診療に携わりたく、春山外科病院に入職いたしました。

手術中の麻酔管理はもちろんですが、総合外来や救急外来など幅広く、今までの経験を生かしていきたいと思っております。

不慣れ故、ご迷惑をお掛けすることも多々あると存じますが、日々努力を重ねて参りますのでよろしくお願ひ申しあげます。



麻酔科 後藤 英介

## 療養支援相談室が2名体制になりました

当院では、患者様やそのご家族の方々が、病気やケガで発生した困り事や悩み事、不安や不明な点に対し、解決のお手伝いできるよう、療養支援相談室を設けてメディカルソーシャルワーカー(MSW)による相談を行っております。

主には、当院にご入院中の患者様が、スムーズにリハビリーション専門の病院などに転院できるよう、他の医療機関との連携、調整や患者様ご家族の手続きのお手伝いを行っております。

当院は、整形外科や脳神経外科といった、退院後に更にリハビリを必要とする患者様が多くご入院されておりますので、これらの需要は増加傾向にあります。

そこでこの度、室員を増員して2名体制とし、スタッフの休暇による不在日の解消を図ることといたしました。

また、2名体制になり、それぞれの患者様への対応もより充実できるものと考えております。

療養支援相談室は当院の5階にございます。入院中だけでなく外来の患者様もお気軽にご利用ください。

### スタッフ紹介



堂森 由香利



佐々木 愛子

## 春山外科病院の理念と基本方針

### 病院理念

救急医療活動を中心とし、さらに地域に密着した急性期病院として、常に患者の皆様に安心で信頼される医療を提供できるよう努力してまいります。

### 基本方針

1. 急性期疾患と救急医療にあたる地域の中核病院として常に医療技術の向上を図り、最善の医療を提供できるよう努力いたします。
2. 患者様の権利を尊重し、患者様との信頼関係のもとで安全で納得のできる医療を確保するため、患者様自らにさまざまな医療の現場で、診療に積極的に参加していただき、患者様とのより良きパートナーシップを構築するよう心がけてまいります。
3. 医療設備の充実や療養環境などの改善により、病院機能の充実・強化を行い、適切な医療サービスを提供できるように努めます。
4. 地域の医療・福祉機関等との連携を強化し、地域のニーズに適応した医療を提供致します。
5. スタッフと病院がともに発展できる、働きがいのある職場を目指します。
6. 健全な経営を維持し、その成果を医療活動を通じて地域に還元します。

### 患者様の権利

当院では下記の患者様の権利を守ることを宣言します。

#### 良質な医療を公平に受ける権利

患者様はだれでも社会的な地位、疾病も種類、宗教などにより差別されることはなく、適切な医学水準に基づいた安全かつ効果的な医療を受ける権利を持っています。

#### 選択の自由の権利

患者様は担当の医師、病院等を自由に選択し、また変更する権利があります。また、いかなる治療段階においても、他の医師の意見を求める権利を有しております。

#### 情報を得る権利

患者様には、自身の病状や治療について医療上の記載されている情報を受ける権利を有しています。また、納得出来るまでわかりやすく充分な説明を受ける権利があります。

#### 自己決定の権利

患者様は、情報と医療従事者の誠意ある助言・協力を得たうえで、自己の自由な意思に基づいて、検査・治療その他の医療行為を受け、選択し、あるいは拒否する権利を有します。

#### プライバシーを保護される権利

患者様には、医療過程で得られた個人情報の秘密が侵されない権利があります。

#### 尊敬を得る権利

患者様は、病を自ら克服しようとする主体として、その生命・身体・人格を尊重される権利を有します。また痛みをはじめとする苦痛の除去を受ける権利があります。

### 医療機関の皆様へ

#### 《検査依頼》

検査予約は、下記時間帯で承ります。

平 日 9:00～17:00  
土曜日 9:00～16:00

CT、MRI検査は「放射線技術科」、  
脳波検査は「臨床検査室」、  
その他については「外来看護師」が  
対応いたします。

#### 《入院依頼》

緊急入院につきまして、9:00～17:00 の  
診療時間内の依頼は診療担当医が対応  
いたします。夜間、休祭日は当直医が  
対応いたします。

その他、緊急性の少ない入院の相談は  
療養支援相談室で承ります。

TEL : 03-3363-1661 (代)